

授業科目	発達心理学					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	杉本 有紗						
授業概要	発達とは一生涯を通した変化のプロセスである。本講義では、発達心理学にて扱われてきた人間の発達のメカニズムについて機能ごとに解説する。また、各発達段階の特徴、代表的な発達理論について解説する。						
授業形態	対面授業			授業方法			

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	発達心理学の扱う各機能の発達過程とその仕組み、各発達段階の特徴、代表的な発達理論について説明することができる。 発達心理学の基本的な知識を理解し、他者に伝えることができる。
理想的レベル	発達心理学の扱う各機能の発達過程とその仕組み、発達段階の特徴、代表的な発達理論について自分の言葉や例を用いて他者に説明することができる。 発達心理学の基本的な知識を理解し、現実の様々な臨床場面における考え方に対応できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	0	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11116J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

復習；当該部分の復習

4

授業計画

第1回	テーマ：オリエンテーション・生涯発達心理学の視点 生涯にわたる発達をどうとらえるのか、代表的な発達理論について解説する。
第2回	テーマ：感覚・運動の発達 胎児期～幼児期までの感覚・運動機能の発達、中年期～老年期までの感覚・運動機能の加齢変化について解説する。
第3回	テーマ：社会性・愛着の発達 発達早期の社会性、共同注意の発達、心の理論の発達、愛着理論について解説する。
第4回	テーマ：言語の発達 乳幼児期の言語の発達（音声、語彙、文法、思考）、児童期の言語の発達（書き言葉）について解説する。

第5回	テーマ：認知の発達 ピアジェの理論、乳幼児期～青年期までの認知の発達、老年期までの記憶の発達について解説する。
第6回	テーマ：情動・自己の発達 乳幼児期の感情の発達、情動調節の発達、幼児期～老年期までの自己の発達について解説する。
第7回	テーマ：人間関係の発達 幼児期～青年期の仲間関係の発達、キャリア発達、家族のライフサイクル、老年期の社会活動について解説する。
第8回	テーマ：まとめ 全体の振り返りを行う。
テキスト	指定なし。プリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『ベーシック発達心理学』開一夫・斎藤慈子編 東京大学出版会（2018） 『問い合わせはじめる発達心理学 改訂版』坂上裕子・山口智子・林創・中間玲子著 有斐閣（2024） 他、適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。 評価点分布を公開する。
学生へのメッセージ・コメント	書店や図書館等で参考になる書籍を探してみてください。 また、周りの人に話を聞いたり、自身のこれまでを振り返ったりして、日常場面での体験と授業で学んだ内容を結び付けてみてください。発達心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。